公共事業終了箇所評価調書

評価確定日(平成28年10月17日)

事業コード	H28-建-終-	04	区				分	○ 国庫補助 ● 県単独
事業名	地方特定道路整備事業費(建設)			局	課	室	名	建設部 道路課
事業種別	道路改築(バイパン	ス)	班				名	道路建設班 (tel)018-860-2492
路線名等	(主)秋田天王線			当	課	長	名	菅原 喬
箇所名	秋田市下新城(北	部道路)	担	놸	4 4	者	名	長谷川 一仁
政策コード	17	政 策 名	新	たな	生活	5圏	の倉	地造
施策コード	04	施 策 名	地	域内	j交i	通の	整何	带
指標コード	01	施策目標(指標)名	県	道の	整位		進	

事業の	施策コード	(
● 事業の	指標コード	()1	施策目標	(指標)名	県道の整備促進											
● 事業の		_							<u> </u>								
**素の	事業の概				101A 4 10 4A/4)-)		F 11. 1.34-41									
■ 国際コンテンド 期前路の拡充等による交通需要の増大に対応するため、秋田都市計画に基づき新たな道路を整備するものである。 - 都市園の交通円滑化の推進(交通需要の増大への対応) - 物のの海半化の交通円滑化の推進(交通需要の増大への対応) - 地市の健全な発展と市街地相互の連携の促進 前回(H23年) H15年 ~ H25年 第7 H15年 ~ H26年 第7 H15日 ~ H26年 第7 H16日 ~ H26年 H16日 ~			は間は、砂	(田巾北部	追路網	において南北に延	びる国連7号と王男	B地万	出大土線を相互	1に結ふ横軸迫							
(情するものである。 - 市は側の交通円滑化の推進(交通需要の増大への対応) - 物高の過少年(の支援)電用港所秋田港) - 物高の過少年(の支援)電用港所秋田港) - 物高の過少年(の支援)電用港所秋田港) - 物高の過少年(の支援)電用港所秋田港) - 物高の過少年(の支援)電用港所秋田港) - 物面((123年) 11.5年 ~ H25年	車業の		ンテナ定	期航路の	拡充等に	による交通需要のt	曽大に対応するた を	5 秋田都市	打計画に 基づき	新たか道路を敷							
・都市圏の交通円滑化の推進(交通需要の借入への対応)	背景及び				1/4/11	1000人地间及*//	H) ((C)) //C	> (// () () ()	が同じ金って	別であた町で正							
・都市の総企な発展上市街地相互の連携の促進 前回(H23年) H15年 ~ H25年 第末期							付応)										
事業期間 前回(123年) 1115年 ~ 1125年 接下																	
株子 19.1 個円 国 日15年 ~ 日26年 株子 19.1 個円 国 日26年 株子 19.1 個円 日26年 株子 19.1 個円 日26年 株子 19.2 田26年 日26年							*=(1102/도) 0	1 1 / /	 								
事業規模 新田(1123年) 延長L=1,973m 幅員W=6.5(13.0)m (1.5+3.25+3.25+1.5+3.5)	事業期間	뒤 ト				総事業費			国庫補助率								
様子 延長L=1,973m 幅員W=6.5 (13.0)m (1.5+3.25+3.25+1.5+3.5)				- 1		 											
事業費	事業規模	i															
事業費 2,111,800 1,911,594 -200,206		於]	処	1				+15+3.5)									
### 1,010,508 882,126 -128,382 請負による精算 853,076 882,241 29,165 用地単価、物件補償額の算定による増 248,216 147,227 -100,989 委託費および事務費の精算							1		埋田								
### ### ### ### ### ### ### ### #######		事	1														
本業費		级	· -	1,	,010,508	882,126	ļ										
事業費 内配内容 (千円) 及び 要因変化 ○ 最終コスト 終了C② / 前回評価C① = (0.91) ○ 費用便益 前回評価 B/C = (3.0)		内部	用棚		853,076	882,241	<u> </u>										
事業費 内訳内容			その他				-100,989	委託費お。	はび事務費の精	算							
(千円) なび 要因変化																	
A	事業費		内容														
要因変化																	
要因変化			コスト・効	果対比較	:		費用便益変化の主	とな要因(前	前回評価→終了	')							
○費用便益 [費用] 工事費及び委託費が請負による精算で減額した。 排標名 指標名 原達改良率 指標の種類 ○ 成果指標 医療指標 医療指標の有無 ○有 ●無 重成率b/a 102% 把握の時期 平成28年 4月 然環境の変化 ・特になし。 *機構像 ・特になし。 ・特になり。 ・特になり。 ・特になり。 ・特による情報・実施機能の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表) 及び			V144 0 104	,				(便益)								
前回評価 B/C=(3.0)	要因変化	℃最終=	スト														
指標名 県道改良率	要因変化 で を と な な な な な な る	○最終 終了C②	Iスト ②/前回評 更 益	平価C①=((0. 91)	事業費の減額に			t _o								
指標式 改良済延長 路線実延長	要因変化	O最終 二 終了C② O費用 例 前[スト ②/前回記 基益 回評価 E	呼価C①=(3. ↓	(0. 91)	事業費の減額に	こより費用便益比が	大きくなっ゛									
指標の種類 ○ 成果指標 ● 業績指標 低減指標の有無 ○有 ●無 目標値a 73.3% データ等の出典 道路課調べ 実績値b 74.7% 連成率b/a 102% 把握の時期 平成28年 4月 指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 ○ 指標を設定することができなかった理由及び把握方法と成果 ※データの出典含む ************************************	要因変化	○最終 終了C② ○費用個 前I	スト ②/前回診 基 回評価 E	学価C①=(3. ↓ 3/C=(3.	(0. 91) 0) 6)	事業費の減額に	こより費用便益比が	大きくなっ゛									
目標値a 73.3% データ等の出典 道路課調べ 実績値b 74.7% 達成率b/a 102% 把握の時期 平成28年 4月 指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 ①指標を設定することができなかった理由及び把握方法と成果 ※データの出典含む ※データの出典含む ※ 特になし。 当該工区周辺の自然環境に大きな変化はない。	要因変化	上 ○最終= 終了C© ○費用個 前□ 終	スト ②/前回記 更益 回評価 E 了 E	F価C①=(3. ↓ 3/C=(3. ↓ 3/C=(3.	(0.91) 0) 6) 長率	事業費の減額(【費用】 工事費及び委託	こより費用便益比が	大きくなっ゛									
直標達成率 実績値	要因変化	○最終= 終了C② ○費用例 前I 終 指格	スト ②/前回記 更益 回評価 E 了 E 票名	F価C①=(3. ↓ 3/C=(3. 県道改良 改良済延	(0.91) 0) 6) ē基 上長/路	事業費の減額(【費用】 工事費及び委託 線実延長	こより費用便益比が 託費が請負による料	大きくなった	した。	ám.							
達成率 達成率b/a 102% 把握の時期 平成28年 4月 指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 ○指標を設定することができなかった理由及び把握方法と成果 ※データの出典含む * 特になし。 当該工区周辺の自然環境に大きな変化はない。	要因変化	○最終= 終了○② ○費用例 前 終 指標 指標の	スト ②/前回記 単益 回評価 E 了 E 票名	F価C①=(3. ↓ 3/C=(3. 県道改良 改良済延	(0.91) 0) 6) ē 逐 E 長	事業費の減額(【費用】 工事費及び委言 線実延長 【● 業績指標	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の	大きくなった 情算で減額に 有無	した。	● 無							
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 ○指標を設定することができなかった理由及び把握方法と成果 ※データの出典含む ***********************************	要因変化	○最終= 終了C© ○費用個 前 終 指標の 指標の	スト シ/前回記 ・	F価C①=(3. ↓ 3/C=(3. 県道改良 改良済延	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委託 線実延長 ● 業績指標 .3%	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の	大きくなった 情算で減額に 有無	した。 〇有	● 無							
 ○指標を設定することができなかった理由及び把握方法と成果 ※データの出典含む 然環境の変化 ・特になし。 当該工区周辺の自然環境に大きな変化はない。 社会経済勢の変化 ・特になし。 様終了後の直点及び管・平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月) 	要因変化	○最終= ※ ※ ② ※ ※ ② ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	スト 更益 回評価 E ア 名 票 2 別 値 a 昼 値 b	F価C①=(3. ↓ 3/C=(3. 県道改良 改良済延	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委) 線実延長 ② 業績指標 . 3% . 7%	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の	大きくなった 情算で減額! 有無 出典	○有 道路課調べ								
然環境の 変化 ・特になし。 当該工区周辺の自然環境に大きな変化はない。 社会経済 勢の変化 ・特になし。 ・特になし。 ・特になし。 ・特になし。 ・本成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	要因変化	○最終= ※ ※ ② ※ ※ ② ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	スト 更益 回評価 E ア 名 票 2 別 値 a 昼 値 b	F価C①=(3. ↓ 3/C=(3. 県道改良 改良済延	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委) 線実延長 ② 業績指標 . 3% . 7%	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の	大きくなった 情算で減額! 有無 出典	○有 道路課調べ								
変化 当該工区周辺の自然環境に大きな変化はない。 1会経済 勢の変化 ・特になし。 1会経済 ・特になし。 1会経済 ・特になし。 1会経済 ・ 中になる・平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	要因変化	と の最終終了のの終 内側前 終 指指標指標連 標を	スト シ/前回語 基益 回評価 E 環名 環式 の値 を値 を を を を を を を を を を の で で で で で で で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	F価C①=(3. → 3/C=(3. 県道改良 改良済延 ○ D	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委託 ・ 線実延長 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
変化 当該工区周辺の自然環境に大きな変化はない。 1会経済 参の変化 ・特になし。 1条87後の 1点及び管 ・平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	要因変化	と の最終終了のの終 内側前 終 指指標指標連 標を	スト シ/前回語 基益 回評価 E 環名 環式 の値 を値 を を を を を を を を を を の で で で で で で で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	F価C①=(3. → 3/C=(3. 県道改良 改良済延 ○ D	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委託 ・ 課意 ● 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ 場合の効果の把	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
変化 当該工区周辺の自然環境に大きな変化はない。 1会経済 参の変化 ・特になし。 1条終了後の 1点及び管 ・平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	要因変化	と の最終終了のの終 内側前 終 指指標指標連 標を	スト シ/前回語 ・	F価C①=(3. → 3/C=(3. 県道改良 改良済延 ○ D	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委託 ・ 課意 ● 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ 場合の効果の把	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
変化 当該工区周辺の自然環境に大きな変化はない。 1会経済 参の変化 ・特になし。 1条87後の 1点及び管 ・平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	要因変化	と の最終終了のの終 内側前 終 指指標指標連 標を	スト シ/前回語 ・	F価C①=(3. → 3/C=(3. 県道改良 改良済延 ○ D	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委託 ・ 課意 ● 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ 場合の効果の把	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
社会経済 ・特になし。 業終了後の ・平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	要目成文字	と の最終の 最終の 表示でのの 書類の 書類を 指摘指摘を 書類を まずを まず<td>スト シ/前回語 基益 評価 子名式 類値 を はし を と かっす定 は を かっす。 で を も の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>F価C①=(3. → 3/C=(3. 県道改良 改良済延 ○ D</td><td>(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)</td><td>事業費の減額(【費用】 工事費及び委託 ・ 課意 ● 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ 場合の効果の把</td><td>こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法</td><td>大きくなった 情算で減額 有無 出典</td><td>した。 〇有 道路課調べ 平成:</td><td></td>	スト シ/前回語 基益 評価 子名式 類値 を はし を と かっす定 は を かっす。 で を も の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	F価C①=(3. → 3/C=(3. 県道改良 改良済延 ○ D	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委託 ・ 課意 ● 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ 場合の効果の把	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
勢の変化 **** [*] *******************************	要 目成 標率 のの	と ○ 最終 = ○	スト	F価C①=(3.	(0.91) 0) 6) 基準 送長 /路標 73. 74. 10 なかった	事業費の減額(【費用】 工事費及び委員 ・ 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ と場合の効果の把持 のた理由及び把握	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
勢の変化 **** [*] *******************************	要とは、おおおおりのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、おおいのは、	と ○ 最終 = ○	スト	F価C①=(3.	(0.91) 0) 6) 基準 送長 /路標 73. 74. 10 なかった	事業費の減額(【費用】 工事費及び委員 ・ 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ と場合の効果の把持 のた理由及び把握	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
連終了後の 直点及び管 ・平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	要とは、おおおけるとは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	と ○ 最終 = ○	スト	F価C①=(3.	(0.91) 0) 6) 基準 送長 /路標 73. 74. 10 なかった	事業費の減額(【費用】 工事費及び委員 ・ 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ と場合の効果の把持 のた理由及び把握	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
1点及び管 ·平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	Table 1	と O A A B A B A B B B<	スト 前回 E	F価C①=(3.	(0.91) 0) 6) 基準 送長 /路標 73. 74. 10 なかった	事業費の減額(【費用】 工事費及び委員 ・ 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ と場合の効果の把持 のた理由及び把握	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
1点及び管 ·平成26年8月、当事業区間は秋田市へ移管済み。(供用開始 平成26年6月)	Part	と O A A B A B A B B B<	スト 前回 E	F価C①=(3.	(0.91) 0) 6) 基準 送長 /路標 73. 74. 10 なかった	事業費の減額(【費用】 工事費及び委員 ・ 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ と場合の効果の把持 のた理由及び把握	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
	要はないないでは、	と A 最高 A 情報 上 指標 上 指標 上 指標 上 持備 上 上 上 上 上 上	スト 前回 E	F価C①=(3.	(0.91) 0) 6) 基準 送長 /路標 73. 74. 10 なかった	事業費の減額(【費用】 工事費及び委員 ・ 業績指標 ・ 3% ・ 7% ・ 7% ・ 7% ・ 22% ・ と場合の効果の把持 のた理由及び把握	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法	大きくなった 情算で減額 有無 出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
	大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学	と O A A B A B B B<	A A A A A A A A A A	F価C①=(3. 3/C=(3. 県道改良 改良済処 O 成 ことができることがで	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委員 (最重要) 業績指標 . 3% . 7% (力) 2% に場合の効果の把握 かた理由及び把握 な変化はない。	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法 方法と成果 ※デ	 大きくなった 情算で減額 有無 一 タの出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								
	要 目成 環化 経変 会の 了像 標率 (後の) で (後の) で (後の) で (の) で	と O A A B B B C B B B<	A A A A A A A A A A	F価C①=(3. 3/C=(3. 県道改良 改良済処 O 成 ことができることがで	(0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91) (0.91)	事業費の減額(【費用】 工事費及び委員 (最重要) 業績指標 . 3% . 7% (力) 2% に場合の効果の把握 かた理由及び把握 な変化はない。	こより費用便益比が 託費が請負による料 低減指標の データ等の 把握の時 屋方法 方法と成果 ※デ	 大きくなった 情算で減額 有無 一 タの出典	した。 〇有 道路課調べ 平成:								

住民満足度等 の状況 (事業終了後)	 ①満足度を把握した対象 ● 受益者 ● 一般県民 (時期:平成28年 8月) ②満足度把握の方法 アンケート調査 ○ 各種委員会及び審議会 ○ ヒアリング ○ インターネット ○ その他の方法 (具体的に) ③満足度の状況 						
	8割以上の回答者から「満足している」「おおむね満足している」との回答を得ている。						
上位計画での 位置付け	○秋田都市計画(H14.8.27告示 都市計画道路下新城東西線)						
関連プロ ジェクト等	○下新城地区土地造成事業(産業労働部所管事業)						
	●選定または継続 ○改善 ○見直し ○保留又は中止 ①指摘事項						
前回評価	特に無し。						
結果等	②指摘事項への対応						
	特に無し。						

2 所管理の白己評価

祖点	評価の内容(特記事項)	評価結果
有効性	①住民満足度の状況 ●A OB OC アンケート調査結果から、回答者の約8割以上が事業に満足、概ね満足している。満足の理由の約5割は、これまでの道路に比べ「カーブの解消」と「速達性の向上」である。 ②事業の効果 ●A 達成率100%以上 OB 達成率80%以上100%未満 OC 達成率80%未満 当該事業は計画通り進捗し、県道改良率の目標に達した。	●A OB OC
効率性	 ①事業の経済性の妥当性 ●A OB OC 費用便益費は1.0を上回っていることから、本事業は経済的に妥当であったと評価できる。 ②コスト縮減の状況 OA 縮減率20%以上 OB 縮減率20%未満 OC 縮減なし 	●A OB OC
総合評価	●A (妥当性が高い) OB (概ね妥当である) OC (妥当性が低い) 地域住民及び道路利用者の利便性の向上や交通安全の確保が図られており、住民流が認められることから、当事業は妥当性が高いと評価できる。	満足度等からも成果

3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)
事業開始前の予備調査や設計段階での現場の把握、他事業との調整等により、道路の整備効果が十分に発揮されるよう検討・設計を行い、更には工法の工夫等によるコスト縮減へも積極的に取り組み、効率的な事業執行を図るとともに、地域住民や道路利用者から高い満足が得られるよう努める。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

〇総合評価の判定基準

総合評価の区分	判 定 基 準	総合評価
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合	Α
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合	